

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	-----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育施設課長 松本 洋子	電話番号	0852-22-5909
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	公共下水道接続事業		
目的	(1) 対象	県立学校の児童生徒	
	(2) 意図	より良い環境で学校生活を送れるようにする。	
事業概要	県立高校の立地する各市町村の公共下水道共用開始に合わせ、既存の浄化槽を撤去し、公共下水道に接続する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	公共下水道への接続割合	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		98.00	100.00	100.00	100.00	
式・定義	接続済みの学校施設数／市町村計画に基づく供用開始区域内の学校施設数		実績値	100.00	98.00	100.00	100.00		%
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	36,751	1,844
うち一般財源(千円)	36,751	444

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

市町村の下水道整備計画を確認し、供用開始予定年度に合わせて接続工事を計画している。接続可能なものは接続済み。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・公共下水道により汚水処理を実施することにより、学校衛生環境が向上された。
- ・既存浄化槽の撤去により、維持管理の負担が軽減された。
- ・H26津和野高校接続

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

②困っている状況が発生している「原因」

③原因を解消するための「課題」

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・市町村の供用開始計画を事前に把握し、遅延することなく事業を実施する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）